

平成26年8月20日
独立行政法人日本スポーツ振興センター

新国立競技場 実施設計の着手について

独立行政法人日本スポーツ振興センター（JSC: JAPAN SPORT COUNCIL 理事長：河野 一郎）は、5月28日に開催した国立競技場将来構想有識者会議（第5回）を経て、新国立競技場の基本設計（案）を取りまとめたところですが、政府部内での調整が整いましたので、お知らせします。

今後、2015年10月着工、2019年3月竣工を目指し、実施設計等の手続きを進めてまいります。（今後のスケジュールは、下記に記載のとおりです。）

【JSC理事長 河野 一郎コメント】

単なる「スタジアム」という存在を超え、社会的・歴史的な意味を持つ、「スポーツの聖地」、「ナショナル・スタジアム」とする特別な場所をつくる作業が、より具体的にスタートいたします。

ラグビーワールドカップ2019、そして、2020東京オリンピック・パラリンピック競技大会のメインスタジアムとして、世界最高を目指すことはもちろんですが、その先の未来に向けて、スポーツ・文化の世界への発信拠点として、創りあげていく所存です。

皆様のより一層のご支援とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

●新国立競技場の改築に関する今後のスケジュール（予定）

- 2014年 8月～2015年9月 : 実施設計
- 2014年 9月～2015年9月 : 解体工事
- 2015年10月～2019年3月 : 建設工事